

令和6年度 国際科 学校評価

〈児童アンケートの結果〉

○国際科の授業で、誰とでも積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
1 学期末	56.5%	34.7%	8.9%	0.0%
2 学期末	63.7%	33.1%	3.2%	0.0%

○世界の国々および日本の文化や伝統のよさを知ろうとしている。

	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
1 学期末	57.3%	30.6%	11.3%	0.8%
2 学期末	55.6%	34.7%	8.1%	1.6%

〈成果〉

- ・英語でのコミュニケーションを大切にした授業実践を行うことができた。
- ・国際交流会の中で、来校いただいた国際大学の学生の方から、出身国について教えていただき、それぞれの国の素晴らしさを感じることができた。それとともに、児童は日本や南魚沼市、蕨神地域の良さを伝えることができた。
- ・特に6年生は他の学年よりも1回多く国際大学の学生との交流会を設定し、児童自身の伝えたいことを一生懸命に伝えることで、コミュニケーション能力を育むことができた。

〈今後に向けて〉

- ・ALT との連携を深め、日々の国際科の授業の充実を図っていく。
- ・国際科の担当職員を中心に、次年度の実践に向けて情報共有や研修を行い、いっそうの活動充実に努める。

学校関係者評価

学校運営協議会にて、国際科の時数や国際交流の頻度について話題になった。

時数について説明をした後、全学年で国際科・国際理解教育を進めていることを確認した。

もちつき大会に留学生を招待するなど、国際交流を行事と兼ねて実施する案も挙がったが、時間調整などが課題であるという話になった。今後も外国の方との実際のコミュニケーションを大切にしていってほしいという意見が出た。